

再評価結果（平成23年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業名 一般国道289号 八十里越	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 北陸地方整備局
起終点 自：新潟県三条市大字塩野淵 至：福島県南会津郡只見町大字叶津		延長 11.8km
事業概要 国道289号の当該事業区間は現在も19.6kmに及ぶ通行不能区間が存在し、大幅な迂回が発生しており、只見地域と最も隣接する主要都市である三条市とのネットワークが途切れていることから、地域住民の日常生活に不便が生じている。特に救急医療・高度医療は遠方の地域への搬送となっている。 八十里越は、「通行不能区間の解消」や「安全・安心な暮らしの支援」等を目的とした延長11.8kmの直轄権限代行による一次改築事業である。		
S61年度事業化	H-1年度都市計画決定 (H-1年度変更)	H2年度用地着手
H元年度工事着手		
全体事業費	約604億円	事業進捗率
		62.5%
供用済延長	0km	
地域の防災面の課題 ・当該路線現道には、急峻な地形、日本有数の豪雪地帯であることなどから、現在も19.6kmに及ぶ通行不能区間が存在。 ・只見地域には高度医療施設が立地しておらず、緊急時には遠方の救命救急センターへの搬送が必要であるが、最短ルートの国道252号には2箇所の事前通行規制区間、また、冬期通行不能区間が存在し、搬送は天候や季節に大きく左右される。		
課題を踏まえた対策・事業内容 ・新潟県と福島県の県境における通行不能区間解消のため、新たに道路を整備し抜本的な対策を実施。		
事業の効果等 ○災害時の迂回解消を含めた走行時間の短縮等 (706億円(残事業=706億円)) ○災害による被害の回避 ・観光消費額減少の回避(100億円) ○地域住民の不安解消 ・不安感の解消(通行止めによる迂回の不安等)	費用 (残事業)/(事業全体) 184/650 億円 (事業費: 170/637 億円 維持管理費: 13/13 億円)	
関係する地方公共団体等の意見 八十里越事業は交通不能区間の解消を図り、住民の生命を守る高度医療機関への緊急輸送強化や防災時の緊急輸送など、生活環境の改善と共に、広域ネットワーク構築を図るため最も優先される事業である。全線供用を目指し一層の事業促進の要望を受けている。 福島県知事の意見： ・対応方針(原案)については異議ありません。 なお、早期事業効果の発現を図るとともに、更なるコスト縮減など、総事業費の抑制に努めてください。 新潟県知事の意見： ・地域住民の安全・安心の確保や沿線地域の振興のため、事業を継続する必要がある。 ただし、事業を進めるにあたっては、県や市町村をはじめとした地元との調整を十分に行い、地元の意向を十分に反映させるべきである。		
事業評価監視委員会の意見 ・審議した結果、再評価及び対応方針(原案)の「事業継続」は妥当である。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 当該道路の沿線市町村は、少子高齢化及び過疎化が顕著であり、交流人口及び定住人口の増加を図ることが課題となっている。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 事業の進捗状況：平成22年度までの投資額604億円。進捗率62.5%		

残事業の内容 : 全区間での用地取得、及び工事推進 (L=11.8km、うち概成済区間は 3.1km)

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等...

現在事業中ではあるが、道路は今後、通行出来ることから、暫定的な活用などより効果が発現出来るよう関係機関とともに検討し、引き続き、全線完成供用を目指し事業を推進する。

施設の構造や工法の変更等.....

施工にあたっては、新技術、建設発生土の有効活用等により、コスト縮減を図っている。

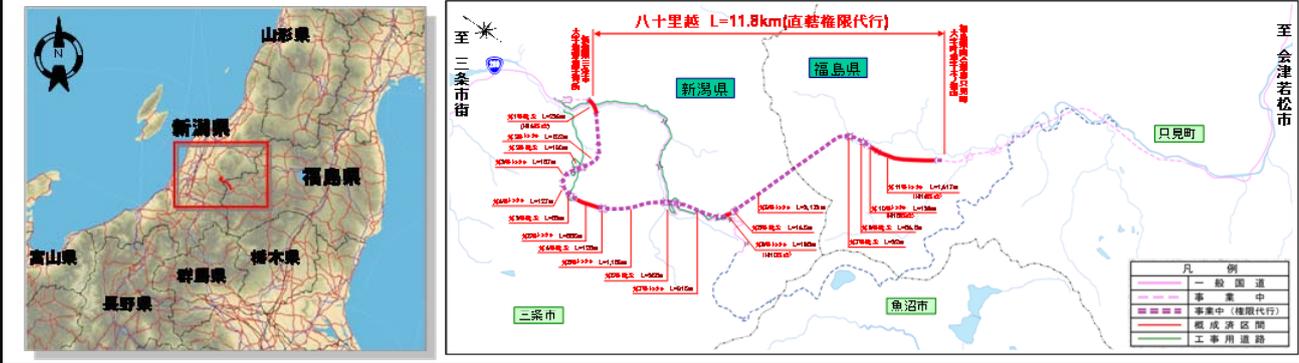
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由.....

事業の必要性は変化なく、緊急に対策を実施する必要があるため。

事業概要図.....



- ※1 事業の効果に記載している金額は、防災面の効果を完成後50年間の便益額として現在価値化して算出した値であり、試算値を含む。
- ※2 費用に記載している金額は、現在価値化して算出した値。